

事業者 児童発達支援 自己評価表(公表) 令和3年10月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		多機能型の運営の為、生活介護事業とスペースを共有している。定員に対しての規定の床面積は有しているが、縦長の構造もあり、十分なスペース確保は難しい現状がある。物品の整理、ベッドの配置等、工夫し安全な環境設定を目指している
	2 職員の配置数は適切であるか	○			児童に対して、1対1以上の職員を配置している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日、環境整備を行い、清潔に心掛けている。手狭であるが、活動に合わせて柔軟に対応をしている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年に2回、全職員参加のミーティングを行い、日頃の業務・活動の振り返り、目標設定を行っている。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの評価結果を受けて改善出来るところから実施している。
	7 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページと事業所内掲示での公開をしている
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		平成28年度に実施して以来行っていない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内・外の研修に参加している。今年度は、コロナウイルスの影響を受け、事業所内に限っている。外部でリモートによる研修があれば積極的に参加している
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			日中生活での課題等、保護者との面談や毎日の送迎時に情報共有している。半年毎に、医師、リハビリテーション科、看護師、保育士による多職種での課題の見直し・立案を行っている

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			環境・欲求を満足させるための、自分からの働きかけの難しい重症心身障害児にとって、アセスメントツールの使用は難しい。今後検討していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿って設定している
	13	児童発達支援に沿った支援が行われているか	○			ガイドラインに沿った支援に努めている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動プログラムの立案は基本的に個人で行いチームで検討している。活動前に必ず、ミーティングを行っている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			マンネリ化しないよう毎日、違う活動を心掛けている。同じ活動でも内容を工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前の毎回のミーティングで、年齢と状態にあった内容と職種間での役割分担を確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援の振り返りのミーティングなどは毎回ではなく適宜、実施している。課題があればその都度振り返り、次回に反映するようにしている
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、カルテに記録している。半年毎にまとめ・評価を行い、支援の改善に繋がられるようにしている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎に行っている
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		利用者本人の担当者が出席できるよう出来る限りの配慮はしているが、勤務の関係で必ずとは言えない

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			電話、メール等で連携を図っている。新型コロナウイルスの影響で訪問は出来ていない状況である。
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			利用開始時や状態に変化があった際は、情報提供をして頂いている。
	24	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			利用開始時や状態に変化があった際は、情報提供をして頂いている。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			適宜、情報提供と情報共有をし理解に努めている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			上記に同じ
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			定期的に連絡をとるようにしている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		年に1回、保育園交流を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルスの感染に配慮し、中止とした
	29	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			代表者が参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやりとりや送迎毎に口頭で様子を伝え、共通理解に努めている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングの研修に参加した職員は配置していないが、日々の成長や課題などを毎回共有し、助言ができるのであれば、専門職から行っている
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始時に、説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら新内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			ガイドラインに基づいた児童発達支援計画書作成し、示しながら説明を行っている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			可能な限り相談に応じ、適宜、助言ができるように努めている

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に2回の保護者懇談会を行っている。事前に要望等のアンケート結果を頂き、答える形式をとっている
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		相談支援員が窓口となり迅速に対応出来るよう努めている。投書箱を設置している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか		○		毎月、発行している(てんとう虫だより)
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		昨年度までは、秋祭りで地域住民を招待できていたが、今年度から中止となった。今後、地域と繋がることのできる催しの企画に努めていく
非常時の対応	41	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		感染対策マニュアルは策定しているが、防犯マニュアルの策定は不十分な現状がある。今後の整備していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		毎月、防災訓練を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している		○		書面で提出して頂いている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		書面で提出して頂いている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットが発生した際は、概要をもとに、分析・対策をし、報告用紙に記入している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		院内の研修に参加している。事業所内も担当者2名を中心として毎月、ディスカッションを実施している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		車いすの胸ベルト、ベッド使用の了解を説明し支援計画書に記載している